



## プロジェクト事例集

AMELAジャパンは、「完了」という言葉の解釈が人によって驚くほど違うことがあるという課題に長年取り組んできました。私たちは、仕様通りの開発だけでなく、安心感や使いやすさまでを含めた真の品質を提供します。

# SeebブロックチェーンNFTシステム開発事例

プロジェクト詳細: **Seeb**プロジェクトの概要:

- プロジェクト名: SeebブロックチェーンNFTプラットフォーム
- 技術スタック: Ethereum, Solidity, React.js, Node.js, IPFS
- 主要機能:
  - NFTアイテムの売買・交換・オークションシステム
  - NFT宝くじシステム
  - スマートコントラクト統合
  - 抽選機能
  - アフィリエイトマーケティングシステム
  - NFTバーン機能
- 開発期間: 8ヶ月
- 開発チーム: 9名 (PM1名、ブロックチェーンエンジニア3名、フロントエンド2名、バックエンド2名、BrSE1名)
- 開発体制: 日本・ベトナム混成リモートチーム

課題: 具体的な問題

⚠️ お客様が以前に契約された他社の開発チームに関して、意思疎通がうまくいかず、プロジェクトの品質が低下しているという問題が発生しております。また、その開発チームが実際に作業を進めているのかどうかについても、お客様は常に不安を抱いていらっしゃいます。

発生日時: 2023年10月12日 09:00 (JST)

影響範囲: スマートコントラクト開発、フロントエンド統合、プロジェクト全体スケジュール

## インシデントの詳細

発覚事象: メインネット向けスマートコントラクトデプロイ予定日に、フロントエンドチームが「コントラクトAPIが仕様と違う」と報告

根本問題: ベトナムのブロックチェーンチームが3週間前に仕様変更を実装していたが、日本側に適切に伝達されていなかった

## 技術的影響

- NFT宝くじ機能のgas最適化のため、コントラクト関数を7個→4個に統合
- 抽選ロジックの乱数生成方法をChainlink VRFに変更
- 既存のフロントエンド実装500行が無効化
- 発見の遅れ: 統合テスト実施まで19日間、問題を認識せずに並行開発が継続

# ビジネス影響

## 即座の影響

- メインネットローンチが3週間延期（予定：10/15 → 実際：11/5）
- マーケティングキャンペーンの延期コスト：¥8,500,000
- 事前予約ユーザー1,200名への謝罪対応

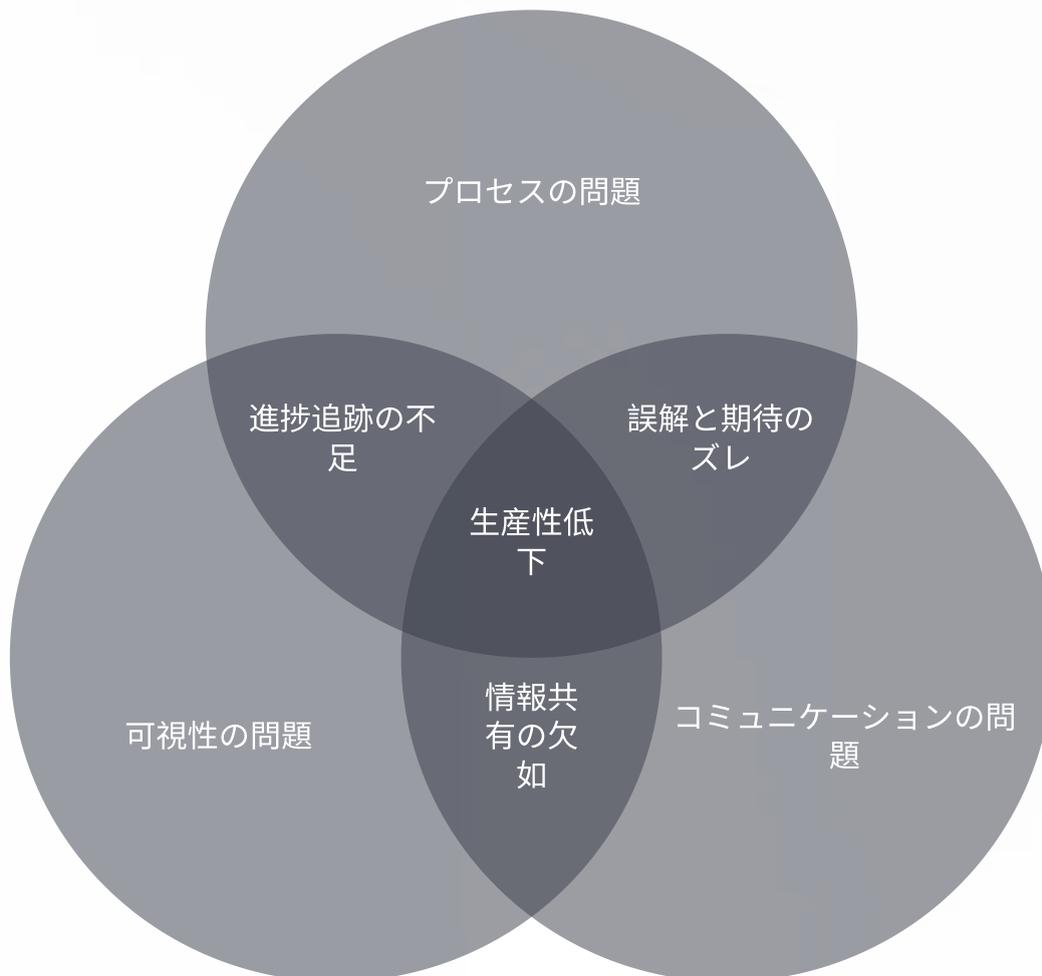
## 開発工数影響

- フロントエンド緊急リファクタリング：120時間
- 統合テストやり直し：80時間
- ドキュメント修正・翻訳：40時間
- 追加QAテスト：60時間

## チーム士気への影響

- 日本側PMからの信頼度低下
- ベトナムチームの責任感・報告頻度への不安
- 今後の技術判断における意思決定の遅延懸念

## 根本原因分析：オフショア開発チーム管理の課題



### 可視性の問題

- タスクの具体的な実装内容が見えない
- 進捗が数値のみで、詳細が不明
- 時差によりリアルタイム状況確認が困難
- 技術的判断や仕様変更の背景が伝わらない

### コミュニケーションの問題

- 週1ミーティングでの変更報告が遅い
- 文字ベース報告では技術的複雑さが伝わりにくい
- 時差による緊急相談のタイミングずれ
- 言語の壁によるニュアンス伝達不足

## プロセスの問題

- 技術判断の承認プロセスが曖昧
- 仕様変更時の影響範囲確認体制がない
- 統合テスト前の整合性チェックがない
- ドキュメント更新の責任・タイミングが不明確

# 解決策：AMELAのオフショア開発チーム可視化アプローチ

プロジェクトのコンサルティング段階および見積提示の時点から、AMELAは自社の業務遂行方法について、お客様に対して明確にご説明してまいりました。その中核となるのが「3つの柱によるオフショアチーム可視化戦略」であり、実際のプロジェクト推進においても下記の通り適用しております。



### Solution 1: 日本時間朝会による進捗・課題・提案のリアルタイム共有

- **毎日9:00 (JST) 30分間のビデオ会議実施**
- 全メンバー参加で前日の実績、当日の予定、ブロッカーを報告。ベトナムチームは前日夜に実施した作業内容を詳細共有
- **「3行報告」フォーマット標準化**
- ①昨日完了したこと ②今日やること ③困っていること・相談したいことを各メンバー3行以内で報告
- **技術判断リアルタイム承認制度**
- 仕様に影響する技術判断は朝会で即座に相談。30分以内で承認・否認・保留を決定し、全チームに共有
- **デモ駆動進捗共有**
- 毎日の朝会で実際の動作画面を共有。コードではなく動くものを見せることで進捗の「実感値」を全員で確認

# AMELAのオフショア開発チーム可視化 アプローチ（続き）



## Solution 2: ガントチャート + 実働時間ログの24時間アクセス体制

- リアルタイム更新ダッシュボード構築
- Jira + Confluence + Togglを連携し、タスク進捗・時間記録・技術仕様変更を一元管理。日本時間で24時間いつでもアクセス可能
- 粒度別進捗可視化システム
- 大項目（Epic）→中項目（Story）→小項目（Task）の3階層で進捗管理。各階層で「設計・実装・テスト・レビュー」の段階を色分け表示
- 実働時間vs見積時間の乖離アラート
- 各タスクで実働時間が見積の120%を超えた場合、自動でSlackアラート。PM・チームリードが即座に状況確認



## Solution 3: 日本語対応BrSEによる日報・週報レポート体制

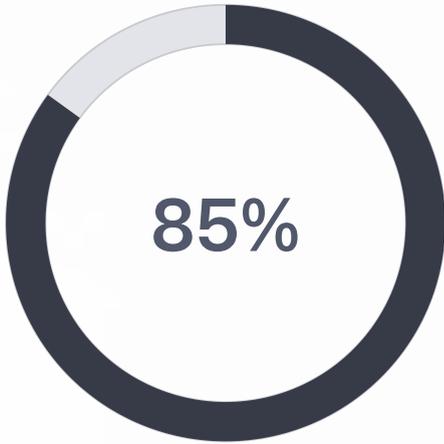
- 専任BrSE配置による多言語コミュニケーション
- 日本語・ベトナム語・英語に対応するブリッジSEを専任配置。技術的な議論から文化的ニュアンスまで正確に通訳・翻訳
- 構造化日報システム
- 毎日17:00（JST）に前日の作業サマリ、技術的発見事項、次日の計画、リスク事項を日本語でレポート。テンプレート化で報告品質を統一
- 週報での戦略的サマリ提供
- 毎週金曜日に技術的判断の背景、仕様変更の理由、来週の重点領域をビジネス観点でサマライズ。経営層への報告資料としても活用
- 緊急時エスカレーション体制
- 技術的問題やスケジュール影響が発生した場合、2時間以内に日本語で状況報告・影響分析・対策案を提示する緊急対応プロセス

## 実装プロセスと効果測定

- 導入期間：2週間でツール設定・プロセス定義・チーム研修を完了
- 効果測定：導入前後で「仕様変更の発見遅延時間」「緊急会議の回数」「チーム満足度」を定量測定

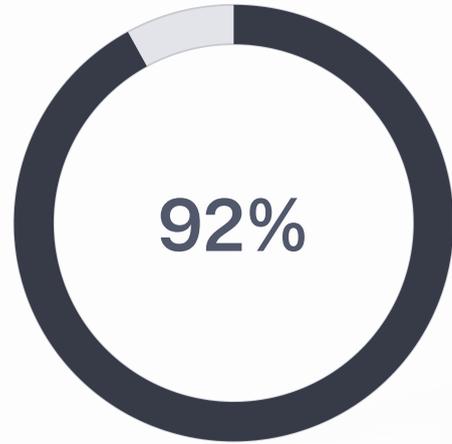
# 成果：定量的な結果

## プロジェクト成果



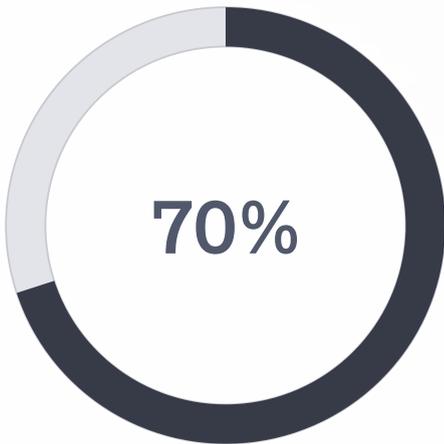
### 仕様変更発見の早期化

重要な変更を平均3日以内に発見・対応。従来の19日から大幅短縮



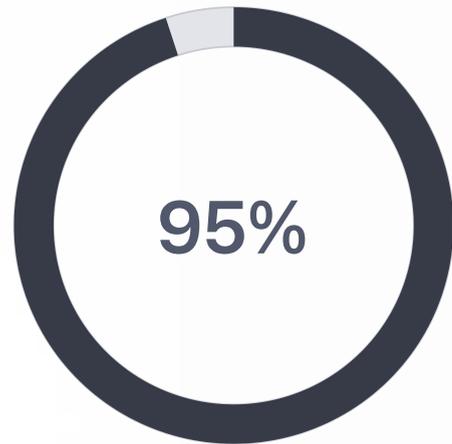
### チーム可視性向上

「誰が何をしているか分かる」満足度が大幅改善



### 緊急会議回数削減

問題の早期発見により、緊急対応の頻度が大幅減少



### スケジュール遵守率

可視化後のマイルストーンは95%の確率で予定通り完了

「可視化した途端、相談タイミングが前倒しになり、仕様ブレが激減しました。オフショアチームでも安心してプロジェクトを任せられる体制ができて、本当に助かります。自分から何も聞かなくても状況が自然と入ってくる環境は、想像以上に心強いです。」

- Seeb様 CTO

## 技術的成果

# まとめ

本プロジェクトを通じて、オフショアチームの真の課題は「技術力の不足」ではなく、「動きの見えなさ」であることが明確になりました。特にブロックチェーン開発のような高度な技術領域では、進捗の可視化と継続的なコミュニケーションが成功の鍵となります。

AMELA日本の「3つの柱によるオフショアチーム可視化戦略」により、距離や時差を感じさせない開発体制を実現。お客様に「自然と状況が入ってくる安心感」を提供し、高品質なブロックチェーンシステムの開発に成功しました。



朝会で共有  
短時間でリアルタイム情報を共有

24時間ダッシュボード  
いつでも進捗と指標を確認

日本語BrSEレポート  
日本語対応の報告と調整

---

## AMELA JAPAN

株式会社AMELAジャパン

Email: [marketing@amela.co.jp](mailto:marketing@amela.co.jp) Phone: (+81)070-6447-8404

オフショアチーム開発で、お客様の成功を支援できます。